

じ ぼ さ ん ぶ つ 地場産物だより ~いちご~



毎月19日は
食育の日

19

メイドインみやこプロジェクト 2022年4月 No1 みやこ町学校給食小委員会

みやこ町では、学校給食で地産地消（地域でできたものを地域で食べる）に取り組んでいます。みやこ町できている野菜を知り、味わって食べてください。みやこ町の農家の方などを知ってもらうために、地場産物だよりで紹介していきます。



めいじん
いちご名人

ふじた あい
藤田 愛さん



いちごの花



いちごの収穫の様子

あまおうを栽培
しています。

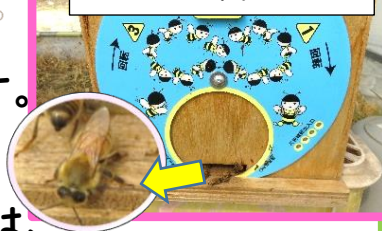


藤田さんのいちご畑（ビニールハウス）はどこ？

みやこ町皆見（豊津）です。（祓郷小学校の近く）



ミツバチも働きます



おいしいいちご作りのコツについて

9月に植えて、11月下旬から5月上旬まで収穫します。

甘みと酸味のバランスは収穫時期によって違うので、

その時期ならではの味を楽しめます。おいしく作るためには、

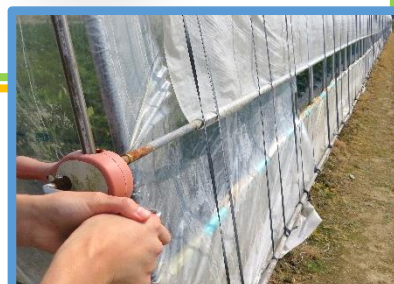
いちごにとって必要な水分と過ごしやすい温度にすることが大切です。毎日、い

ちごの状態とその日の天候を考えて調整します。

いちご作りの大変なこと

植える前の準備（土づくりや新しい苗づくり）が大変です。

また、夏場のビニールハウスでの作業はとても暑いです。



ハウス内に風を通します

藤田さんから小学生や中学生のみなさんへのメッセージ

「食べる人の笑顔が見たくていちご作りをはじめた」祖母の想いを引き継ぎ、いちご作りをしています。いちごを食べてお友達と一緒に幸せを感じてください。

